



請願第28号 新病院整備費と整備計画の市民説明会開催を求める請願

内容 (請願者) 三田市民病院をまもる会 佐藤仁志氏
(趣 旨) 新病院整備計画の建設費及び金利上昇による整備費総額見込額や整備費高騰による市財政収支見込への影響等について市民説明会を行うよう求めるもの

不採択
賛成 3名
反対 18名

委員会審査報告より (審議経過)

自由討議では、財政面の問題だけでなく具体的な説明を行い、多くの市民の意見を聞くような説明会としてほしいとの意見があった。

討論では、整備総額見込額や当初の計画からの変更点の説明は市民にとって重要であるため、賛成する意見があった。

また、幅広く多くの人が参加できる条件で市民説明会が開催されるか、議会として注視する必要があるが、既に市が開催を予定しており、請願を受けること自体がふさわしくないため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(経営政策常任委員会委員長 佐貫尚子)

賛成討論

神戸市北区において実施された「三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合に伴う新病院整備事業説明会」は、会場に比して参加者が非常に少なく、周知と説明内容が十分であったとはいえない。今後予定されている市民説明会は、三田市民のみを対象とした2回のみの開催であり、回数や質疑応答時間を増やすべきである。また、新病院基本設計は、基本計画からの変更も多く、中東情勢の影響は反映されていない。市民生活に大きく影響する重要な問題であり、これらの点を反映した上で充実した市民説明会を行うべきであるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)



請願第29号 新病院整備に関する特別委員会設置を求める請願

内容 (請願者) 三田市民病院をまもる会 段林正樹氏
(趣 旨) 新病院整備に関する特別委員会を設置し整備費の見込みと市財政に与える影響の審議を求めるもの

不採択
賛成 3名
反対 18名

委員会審査報告より (審議経過)

討論では、建築資材の高騰が懸念される中で、市財政の状況を考慮して再編統合を見直す選択肢が出てくる可能性もある。このまま再編統合を進めてよいのかも含め検討していく必要があるため、賛成する意見があった。

また、市民の命を守るためには再編統合すべきであり、議会として既に承認している。新病院基本計画は、物価高騰による影響も考慮し、議論する必要があるが、具体的な病院機能等を議論する特別委員会の設置や、現所管委員会での議論も可能であり、改めて方向性を議論する特別委員会の設置は必要ないため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(議会運営委員会委員長 福田秀章)

賛成討論

いまだに市民に是非を問うていない病院の再編統合そのものに反対であるが、再編統合に賛成する市民からも新病院の整備費が市財政に与える影響への不安の声を聴く。建設資材・労務費の高騰、資材確保や金利上昇の懸念がある中で、市財政への影響の検証が求められている。過去に、整備費は青天井ではないとの答弁があったが、今後の世界情勢がどのような影響を与えるか分からず、整備費が市財政の上限を超えた場合には再編統合自体の見直しも選択肢としてあり得るのではないかと。こうした現状において、今後の影響等を検討する特別委員会の設置が必要であるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)



請願第30号 市民病院跡地活用の事業者募集の中止を求める請願

内容 (請願者) 三田市民病院をまもる会 東浦徳次氏
(趣 旨) 市民病院跡地活用の事業者募集の中止を求めるもの

不採択
賛成 3名
反対 18名

委員会審査報告より (審議経過)

討論では、新病院の建設自体に見通しが立たない中、現市民病院跡地活用の事業者を先行して募集することに問題があり、一旦立ち止まるべきであるため、賛成する意見があった。

また、市内に回復期病床が約60床という現状で、急性期医療を担う新病院開院後、引き続き市民が安心、安全に暮らすためには、回復期医療機関等の誘致が必要不可欠であるとの意見や、新病院と回復期医療機関等を同時に連携する必要があること、売却額も相当であることから、早期に事業者を決定する必要があるため、反対する意見があった。

採決の結果、賛成少数のため不採択とすべきものと決した。
(経営政策常任委員会委員長 佐貫尚子)

賛成討論

再編統合の基本方針、基本構想の決定時から、物価高騰や財政事情など市を取り巻く情勢は大幅に変わっていることに加え、そもそも市民に是非を問うていないため、現在の情勢のもと再編統合の是非を含め、改めて検討すべきである。今後、新病院整備費がさらに高騰し、入札不調が続けば建設自体も危ぶまれ、新病院の開院時期が延期となれば切れ目なく回復期医療を提供する跡地活用の時期も遅れる状況であり、契約によっては違約金が発生する可能性もあるため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)

質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

6月定例会では、17人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会YouTubeチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議団



橋本 維文 議員

市民とともに



住宅支援

住宅の困窮度が高い 市民に市営住宅の提供を

議員 高齢化が進行しており、単身の高齢者をはじめ住宅に困窮する市民の増加が見込まれる。限られた資源の中でも、住宅に困窮する度合いが高い市民に、市営住宅を的確かつ迅速に提供できる仕組みを再構築する必要があるのでは。

優先度を考慮し、入居者の選考にあたっている

市 優先枠を設定し、事情を抱えた世帯へ配慮している。募集枠の概ね半数が事情を抱えた世帯対象となっており、優先度を考慮して入居者の選考にあたっている。必要な方へ柔軟に提供する取組となっていることから、現状の対応を継続していく。(名倉副市長)

他の質問 財政問題の課題と今後の対策について 他

労務管理

公益目的通報制度は 機能したのか

議員 公益目的通報で休憩時間の未取得という違法状態に関する情報が記載されていたにもかかわらず、結果として是正が遅れたのではないかと。また、違法状態認定後も未払い勤務に対する手当の取扱いが整理されていないことについて、市の認識を伺う。

適切な対応と改善を進める

市 公益目的通報制度は適切に運用してきたと認識している。今回の事案については、行政監察員（弁護士）が当初からの調査の必要性を認めなかったものである。今後は制度の改善を図る。未払い勤務については実態を確認した上で、適切に対応していく。

(西尾理事兼総務部長)

他の質問 地域活動の支援拡充について 他

